



稲作農家 各位

山武稲作情報 第4報

(2020年6月30日発行)

山武農業事務所 改良普及課
 電話 0475-54-0226
 FAX 0475-52-7914

山武地域の生育状況

各品種ともに幼穂形成期に到達しました(表1)。生育が順調なほ場では、平年より3日程度早い進みです。一方、移植以降、還元害による生育抑制が続いていたほ場では、幼穂形成期はほぼ平年並みで茎数が少ない傾向です。同じ移植日でもほ場により幼穂形成期が異なり、その後の幼穂の伸長にも差が見られます。

また、4月20日頃に移植した「ふさおとめ」、「ふさこがね」の出穂期は7月10日頃、「コシヒカリ」、「粒すけ」は7月18日頃と予測しています(表2)。

表1 幼穂形成期の生育(作柄調査ほ等、平年値は過去10年(成東育成地は7年)間の平均)

品種	場所	年	移植日	葉令	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉色		幼穂 形成期 (見込み)
							SPAD	カラー スケール	
ふさ おとめ	山武市 (成東 育成地)	2020	4/24	11.4	51	585	38.6	4.8	6/12
		2019	4/25	10.5	50	601	39.2	4.9	6/17
		平年値	4/26	10.4	50	563	38.2	4.7	6/16
	山武市 (白幡)	2020	4/29	11.6	53	532	38.7	4.8	6/18
		2019	4/26	11.5	50	561	41.0	5.1	6/21
		平年値	4/27	11.2	54	515	38.7	4.8	6/18
ふさ こがね	山武市 (成東 育成地)	2020	4/24	10.5	56	582	37.6	4.7	6/15
		2019	4/25	10.1	50	649	41.4	5.1	6/18
		平年値	4/26	10.3	52	568	40.4	5.0	6/17
	山武市 (井ノ内)	2020	5/2	11.5	66	613	42.5	5.3	6/20
2020年から新設のため平年値、前年値無し									
コシ ヒカリ	山武市 (成東 育成地)	2020	4/24	11.0	62	442	32.7	4.0	6/20
		2019	4/25	10.0	62	574	35.8	4.4	6/24
		平年値	4/26	10.3	62	505	35.3	4.4	6/24
	東金市 (幸田)	2020	5/2	11.0	67	379	37.7	4.7	6/26
		2019	5/4	11.0	63	431	35.7	4.4	6/28
		平年値	4/26	11.1	68	510	37.9	4.7	6/26
粒すけ	山武市 (成東 育成地)	2020	4/24	11.3	59	489	35.3	4.4	6/19
		2019	4/25	11.1	60	616	37.7	4.7	6/30
【飼料用米】									
アキヒカリ	山武市	2020	4/26	-	56	741	44.0	5.5	6/16
夢あおば	山武市	2020	5/15	-	74	404	45.0	5.6	6/30

表2 山武地域における移植日ごとの出穂期予測

品種	ふさおとめ		ふさこがね			コシヒカリ			粒すけ		
	4/20	5/1	4/20	5/1	5/15	4/20	5/1	5/15	4/20	5/1	5/15
出穂期	7/9	7/13	7/10	7/14	7/25	7/18	7/23	8/2	7/17	7/22	8/2

予測値は令和元年度試験研究成果普及情報の推定式により気温(アメダス横芝光)から計算して推定(「粒すけ」は調査ほ等の生育から推定)。移植時の苗の葉令、活着状況、ほ場ごとの気象条件、予測日以降の気象条件等による誤差あり。

これからの管理のポイント

○幼穂の伸長が緩慢なので穂肥施用時期に注意

現在、「コシヒカリ」（5月1日頃までに移植したほ場）の穂肥施用時期ですが、6月下旬は日照時間が少なく地温や水温が上昇しにくかったため、田面付近にある幼穂の伸長が緩慢です。**ほ場ごとの幼穂長を確認し、穂肥施用時期を決定してください。**「コシヒカリ」の穂肥の施用方法は第3報を参照ください。



幼穂形成期頃の
幼穂の位置

○いもち病、紋枯病防除

葉色の濃いほ場で葉いもちの発生が見られます。葉いもちから穂首いもちに感染が拡大すると減収が懸念されます。この先、曇・雨天が続く予報のため、葉いもちが発生しているほ場や穂いもちが毎年発生するほ場では早めに防除を行いましょう。

また、紋枯病が毎年発生するほ場では出穂 20 日前頃に粒剤を散布します。その後、穂ばらみ期に病斑が見られる場合は液剤を散布して防除します。

○斑点米カメムシ防除

畦畔の草刈りを出穂期になってから行うとカメムシ類をほ場の中に追い込んでしまいます。**畦畔雑草は出穂2週間前頃までに刈り取りましよう。**

コラム④ 温暖化に負けない「コシヒカリ」栽培

近年は、「コシヒカリ」にとって倒伏しやすい気象条件といえます。30年以上にわたり県内の同じほ場で実施した栽培試験をまとめたところ、温暖化による気温の上昇が、「コシヒカリ」の生育・収量に大きく影響していることがわかりました。「コシヒカリ」の安定生産のためには、気象変動に合わせた栽培管理が必要です。

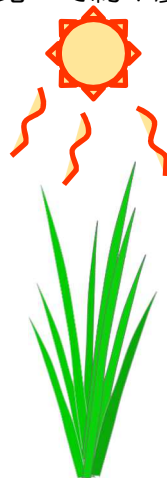
気温上昇の影響

最近（2015～2019年）の水稻生育期間の平均気温（アメダス横芝光）は、平年値（1981～2010年）と比べて約1度上昇しています。

生育ステージが早まり
出穂期が前進する

追肥・病害虫防除・収穫適期
が早まる

生育ステージに合わせて
適期に作業を行いましよう



・前半の分けつが旺盛となり
籾数が過剰になる
・稈長が伸びる

倒伏しやすく、収量が不安定

中干しで莖数を抑え、幼穂
形成期の生育に応じた追肥
を行いましよう

※生育期間中の気温は、移植が遅れるほど高くなります。「コシヒカリ」の作期を遅らせる場合は、栽植密度を㎡当たり 15～16.5 株とし、基肥と穂肥を標準より減らすことで気温の影響を軽減できます。

次回の情報は7月10日（金）に発行する予定です。